

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>入居者の笑顔、そして、地域との絆に重点を置いた理念を掲げ取り組んでいます。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>朝の申し送り時、一日のはじめに全員で理念を唱和して共有し仕事に取り組んでいます。事務所やホーム内の掲示板に理念を掲げており、職務中目に入ります。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>入居時の説明の際、重要事項説明書に記載し、家族の理解を頂いています。また、ホーム内の掲示板に理念を掲げ、タシポ来客者に説明し浸透を図っています。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>庭や建物の周囲に四季の草花を植えて、訪問者の目を楽しませ、訪れ易い雰囲気作り又、親しみやすいあいさつをするよう心がけています。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の行事(花まつり)に外出参加しています。地域の方々が主催する慰問を積極的に受け入れています。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	グループホーム理解のため地域の方々や高齢者が見学に来た際、地域の和を大切に、談話を楽しみ、お茶を提供しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価で頂いた評価を職員会議、申し送り等で話し合い、評価の意義を全職員で理解しながら勉強し、改善に努めています。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動の内容、実績状況の資料、写真を載せたタンポポ新聞を添えて報告し、よりよい処遇ができるようたくさんの意見を頂き、サービス向上のため話し合いを行います。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市と運営の実態を共有しながら、サービスの質や課題解決に向けて協議し、市と連携しながらサービスの向上に努めています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在必要な入居者はいません。管理者や職員は権利擁護に関する制度の理解に努めています。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	隣接する特養と合同で身体拘束による施設内研修に参加しています。職員同士が相談し合える良い関係を築き、ストレスを溜めないよう努めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約時はゆっくり時間をかけ説明し、家族の不安を受けとめ、質問等に答えています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	タンポポで生活する中で、各入居者からさまざまな意見に耳を傾けています。又、家族から、入居者がどう感じ、意見を持っているか聞き、運営に反映させている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	タンポポ新聞を毎月作成し、家族へ郵送したり、ホーム掲示板に貼っています。日頃の状態を面会時、電話等で随時報告しています。通信ノートを活用している家族もいます。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との面談時に意見を伺っています。処遇の向上を目指し、家族に書面で意見を頂き、職員で共有し、話し合っています。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝の申し送りや、毎月1回の職員会議の場で運営に関する職員の意見を聞いています。大きな行事の後には職員全体で反省会を開き、今後に役立てています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者を中心に勤務の調整に努めています。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者と馴染みの関係になれる様、穏やかに笑顔で接しています。一緒に過ごす時間のなかで、徐々に受け入れてもらい、利用者に混乱がないよう十分配慮し、信頼関係が築けるよう努めています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内で2ヶ月に1回、夜に施設内研修を行っており、勤務以外の職員は参加しています。外部の研修にも積極的に参加しており、職員のスキルアップに力を入れています。	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	レベルアップ研修に参加し、交流の機会を持っています。他のグループホームの管理者に電話で相談したり、互いの活動を共有したり、一緒に研修に行ったりしています。	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	一人ひとりに声をかけ、職員と会話をし、健康状態に気を配っています。親睦会主催の行事が年に数回あります。	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	毎週水曜日、検食をかね、タンポポに訪問し、入居者、職員と会話し、意見を伺っています。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	タンポポに見学に来て頂き、困っていることを本人自身から聞けるよう、家族を交えて傾聴しています。また、自宅に訪問させて頂き、話しやすい環境で伺う機会をつくっています。	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	タンポポに見学に来て頂き、話を傾聴しています。安心してもらえるよう温かく接するよう心がけています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時、本人、家族の一番必要とする支援を担当ケアマネージャーと共に話し合い、よりよい方法を見極めるよう努力しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と共に何度か遊びに来て、タンポポの雰囲気徐々に慣れていけるよう工夫しています。訪問した時は、職員が間に入り、入居者と慣れて、安心して頂くよう努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は尊敬の心で入所者に接し、互いに助け合う関係を築いています。一緒に食事やおやつ休憩を笑顔で過ごしています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の様子を随時家族に伝え、本人、家族そして職員と一緒に笑顔になれる関係を築いています。大きな行事には、家族に参加して頂き、楽しい思い出を作ってもらっています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族が気軽に訪問でき、訪問時は、居心地よく過ごせるようお茶を提供するなど、工夫しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の訪問時は、本人そして職員はとても感謝し、再訪問しやすい雰囲気を作っています。電話を使用し、関係が途切れないよう努めています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を把握し、互いに支え合い、楽しく過ごせる関係作りに努めています。孤立しがちな人には、職員が間に入り関わり合えるよう支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	家族が手紙をくれたり、訪問する機会があります。利用者が過ごした思い出の場所として訪れます。その際、職員に激励の声をかけてくれ、とても感謝しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いを聞き、家族から話を聞き、その人らしく生活できるよう努めています。困難な人の場合は、色々な場面参加で、本人を観察し居心地を検討しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	プライバシーに配慮しつつ、本人、家族、担当のケアマネジャー等に聞き、情報を共有して日々の生活支援に役立てています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの現状をよく観察し、全職員から情報を得て状態把握に努めています。また、申し送りノートを活用しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の希望、生活歴、身体状態等アセスメントに基づき、各入居者の担当職員を中心に話し合い、個人的な介護計画を作成しています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを実施している。状態に変化が生じた場合は、再度アセスメントし、話し合い新たな介護計画を作成しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、各利用者の日常の様子やどのように過ごしたか記録しています。記録を参考にしながら情報交換し、実践に反映させています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	面会の規制をなくし、気軽にいつでも訪問できるようにしています。本人、家族の状況を把握した上で、その時々々の要望には全職員で話し合い、柔軟な支援を努めています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	隣接する福祉施設との協力体制ができていますので、避難訓練には近隣ボランティア、地元消防の協力を得ています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて、他のケアマネジャーに相談したり、サービス事業者に相談したりしています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて、電話にて相談したりしています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体に医療機関があり、体調不良時は、安心して受診されています。また月1回定期受診し、連携に努めています。母体の医療機関以外の病院を希望されている方が2名いて、適切な医療を受けられるよう支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>母体の医療機関の医師に相談し、適切なアドバイスや治療を受けています。</p>		
<p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>母体の医療機関の看護師に相談したりしています。また、隣の特養から看護師が応援に来る体制が整っています。</p>		
<p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時には面会に行き、医療関係者に状態を伺ったりしています。</p>		
<p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合、本人の気持ちを大切にし、家族の意向を医師に相談した上で、タンポポでも生活できるか全職員で話し合い、方針、援助を決めています。</p>		
<p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>入居者の余生がより良い暮らしになるよう、かかりつけ医の他、隣の特養の看護師にも協力をお願いして、できる限り、タンポポで生活できるよう支援しています。</p>		
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>医療、福祉関係者、ケアマネージャーとの話し合い、情報交換を行い、住み替え後も不安がないか、様子を伺っています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室のプライバシーを重視し、一人ひとりの個々を尊重し、その人に合わせた声掛け、対応を行っています。業務上知り得た情報の秘密は必ず守っています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	各入居者の理解度に合わせて丁寧に説明し、自己決定してもらっています。本人の思いや希望に常に耳を傾け、より良い暮らしになるよう支援しています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースで自由に過ごしてもらっています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	出張理容を利用し、本人の望む髪型にしています。女性の方の化粧品やクリームがなくなりそうになったら、家族に購入をお願いしています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お手伝いできる方と、準備、片付けを一緒に行っています。職員も一緒に会話を楽しみながら、ゆっくりと食事を楽しんでいます。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	午前中、喫茶店を開き、本人の好む飲み物を提供しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の失敗やおむつでの不快感を減らす為、定期の排泄誘導とそれ以外の時間でも随時行っています。毎日、排泄記録を行っています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は2ユニット毎日交互に入っている為、常に入浴できる体制であり、本人の希望やタイミングに合わせ、楽しく入浴しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	週1回シーツ交換を実施し、天気の良い日は寝具を干しています。昼は活動力を増やし、夜は安眠できるようリズムを作っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの楽しみごと、好きな活動の把握に努め、喜びある日々が過ごせるよう支援しています。レクやクラブ活動に参加し、楽しまれています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と相談しお金を持っている方がいます。買い物を楽しみにしているので、家族又は職員の支援により買い物をしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	家族と協力しながら、外出支援しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に合わせた花見外出を支援しています。皆さんお花が好きなので、感動されています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りでは、職員が代筆し、大切な人との絆を大切にしています。電話は家族からかけてくる方がいます。希望する方は電話する方もいます。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会者の出入りは自由であり、気持ちよく訪問できるよう笑顔で出迎えています。入居者とゆっくり過ごして頂けるようお茶を提供しています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内研修で勉強会を開いています。身体拘束は行っていません。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	裏口の施錠は、家族に説明しています。門と裏口にはインターホンを取り付けています。安全に配慮した自由な暮らしを支援するよう努力しています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	担当職員は、安否確認を常に行い、台所からも入居者の見守りを行いながら調理しています。夜間はプライバシーに配慮しながら、1時間毎に安否確認しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	自室にある物は本人の自由としているが、一人ひとりの状態に応じて、家族と確認をとりながら、危険を防ぐ取り組みをしています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書、ヒヤリハット記録があり、事故防止の検討会議を行い話し合っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	法人内勉強会にて応急手当の研修を受けたり、各自で勉強に努めています。職員で対応できない場合、隣の特養の看護師に協力を頂いています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回避難訓練を実施し、地域協力員の方も参加しています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	状態変化に応じて、リスクについて家族を交え、		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調変化時は、管理者又は生活相談員に報告し、適切な対応をしています。申し送りノートを活用し、情報の共有をしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋ファイルがあり、一人ひとりの内服薬が明確にされており、いつでも閲覧できるようになっています。薬変更時や臨時薬はその都度、申し送りしています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便表を記入し注意しています。野菜やフルーツをたくさん摂取できるよう、栄養士に相談したり、毎日牛乳を提供しています。医師に相談し、指示を仰ぐ場合もあります。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりの口腔状態に応じたケアをし、清潔に努めています。夕食後一人ひとりの状態把握のため、口腔内を観察させて頂き、入れ歯をポリデント洗浄しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一緒に食事しているため食事、水分量は確認できます。水分摂取はこまめに提供し、種類を豊富に揃え、ゼリーも常備しています。また、3食汁物を提供しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルがあり、感染症予防を心がけています。勉強会にも参加しています。インフルエンザ予防接種は入居者、職員が全員受けています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食事を安全に食べてもらうため、栄養士に指導を受けながら消毒等清潔や衛生管理に注意しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物の周囲や玄関周りに四季の草花を育て、明るく訪れやすい雰囲気作りをしています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木を使用し、温かい雰囲気を作り、至る所にソファを設置し居心地良くゆったり過ごせるようにしています。季節感がある作品や生け花を飾り、四季を感じることができる工夫をしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆったり過ごせるようテレビ前にはソファを置き、思い思いに過ごしています。和室で昼寝をする方もいて、落ちつける場所として使用してもらっています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	居室にある物は馴染みのあるものを使用しており、自由に空 間を作っています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	随意時換気を行い、適切な温度調節に配慮しています。ま た、今の時季には加湿に努めています。臭いの原因には消 臭剤を使用し、快適に暮らせるよう配慮しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	ホーム内、玄関先に手すりの設置、段差をなくし、スロープを 設置しています。浴槽にすのこを設置、ポータブルトイレの使 用など、できるだけ自立できるよう工夫しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	居室の表札に名前と写真を明示したり、トイレの場所がわか るように明示したり、一人ひとりのできることを伸ばす工夫をし ています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	外周りの濡れ縁では、日向ぼっこをしたり、布団を干したりし ています。庭ではガーデンランチ、野菜作りなどの活動をし ています。		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input checked="" type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

タンポポでは「食」へのこだわりを重視しています。食の大切さを理解し、旬の食材を使用したバランス良い献立、健康面に注意した味付けの工夫、入居者に喜んで頂ける食欲をそそる美味しい料理の提供に力を入れています。季節感を味わえるよう行事食や菜園での採りたての野菜を使用したメニューは大好評であり、ガーデンランチやバイキングは楽しい時間となっています。入居者がホームで生き生きとレクリエーションやクラブ活動に楽しく参加できるのは、やはり食事が原点であり、楽しむ食事から入居者を全力でサポートしています。音楽療法、手芸クラブなどたくさんの行事を取り入れており、特に毎月実施している生の果実やハーブなどを使った変わり湯は大好評であり、入居者の笑顔が職員の元気の源となっています。